

相楽 秋の教育のつどい

子育て・教育講演会

参加 Free ・ 保育室あり

講師 **鈴木 大裕**さん
すずき だいゆう



今、問い直す「学校」という場所
「教師」というしごと

人と人は、対面し、表情や所作を体で感じながらお互いの理解を深め合っていきます。子どもたちは、全身で人と世界と交流しながら、自分を創りあげていきます。ところが、昨年からのコロナ禍は、子どもたちの日常を大きく変えてしまいました。「くっつかないで!」「しゃべらないで!」の日々。

同時に、このコロナ禍は、私たちに多くのことの問題点を迫っています。子どもたちにとって、私たちにとって「学校という場所」はどういう場所なのか。そして、そこで子どもたちと共に生きる「教師というしごと」の意味と価値は?いろいろと考えたいと思います。

あなたのお越しをお待ちしています。

教育研究者・土佐町議員

16歳で単身米国に留学。そこでの教育に衝撃を受け、日本の教育改革を志す。大学院修了後に帰国し、通信教育で教員免許取得。公立中で6年半教壇に立つ。後にフルブライト奨学生として米国の大学院博士課程へ。2016年、『崩壊するアメリカの公教育：日本への警告』（岩波書店）の出版を機に高知県に移住し、2019年に土佐町議会議員選挙でトップ当選。教育を通した町おこしに取り組んでいる。

11月6日(土)

13:30~17:00 (講演 15:30 終了予定)

講師の鈴木さんは 16:45 ごろまでおられます

- *マスクの着用をお願いします
- *換気を優先しますので、温かい服装でおいでください。

精華町むくのきセンター 4F 多目的ホール



主催

相楽の子どもと教育を考える会・相楽教職員組合 TEL0774-86-5010

sokyouso@nike.eonet.ne.jp

地図コード

